

ディプロマ・ポリシー

英語英米文化学科では、所定の単位を修得した学生に学士(文学)の学位を授与します。学位の取得には、英語力の向上とともに英語圏社会での体験学習などを通じて、主に英米圏の人々と自由にコミュニケーションできる英語運用能力を修得し、さらに英語圏の人々の言語・文化的背景を深く理解できる幅広い視野を涵養することが求められます。

カリキュラム・ポリシー

英語英米文化学科では、高い英語力を身につけること、および英米を中心とする英語圏社会の文化について理解を深めることを目標としています。1～3年の英語必修科目で基礎力を高め、英語と文化を同時に学ぶ外国人教員による科目「Culture through English」で英語圏文化の特徴・相違を英語で理解し、自らも発信する英語運用能力を涵養します。また、英語圏社会での体験学習を通して異なる価値観の人々の心に深く共感できるメンタリティーを養います。そして2～4年の専門科目では、アメリカ文化、イギリス文化、英語圏文化、英語研究の各分野の幅広い専門的知識を身につけ、特に演習科目(ゼミ)では自ら選んだテーマについて自ら調査し、卒業論文にまとめます。このように当学科のカリキュラムは、学年を追うごとに学びの深まりを実感できるよう工夫されています。

アドミッション・ポリシー

英語英米文化学科では、高い英語力を身につけ、英語圏諸国の言葉と文化に精通し、世界的視野に立って考え、発言できる人になってほしいと考えます。そのために、次のような学生の皆さんの入学を期待しています。

- ① 世界共通語である英語の能力を高め、英語圏の国々の文化と事情を積極的に学ぶことに意欲的な人。
- ② 英語、社会、国語の基礎的な学力があり、新聞等のメディアを通じて社会情勢に関心を持ち理解につとめる人。特に実用英語検定準2級程度以上の英語力のある人。
- ③ 将来、自分の職業や生活のなかで社会へのさまざまな貢献をすることに意欲的な人。